

VNF 展開属性

Elastic Services Controller (ESC) は仮想ネットワーク機能マネージャ (VNFM) であり、仮想ネットワーク機能 (VNF) のライフサイクル管理を実行します。ESC により、仮想サービスのプロビジョニング、およびその正常性と負荷のモニタリングによるエージェントレスのマルチベンダー VNF 管理が可能になります。ESC を使うことで、モニタリングのルールを定義し、ルールの結果に基づいてトリガーされるアクションを関連付けることができるため、柔軟な管理が実現します。モニタリングの結果に基づき、ESC は VNF に対してスケールインまたはスケールアウトを実行します。また、VM に障害が発生した場合の自動 VM リカバリもサポートしています。

以下のセクションでは、展開 (dep.xml) 属性をリストします。

展開コンテナ

属性	データタイプ	説明
tenant	list	テナントのリスト
name	string	テナントの名前
managed_resource	boolean	true の場合、テナントが作成、使用、および削除されます。false の場合、テナントは ESC でのみ使用されます。デフォルトは true です。
extensions	container	
extension	list	テナントレベルで関連付けられる拡張機能 (例: quota)
deployments (サービス登録なしの VNF 展開用)		
deployment	list	展開のリスト
name	string	導入の名前
extensions	container	
extension	list	展開レベルで関連付けられる拡張機能 (例: VMWARE_VCD_PARAMS)
locators	container	VMware マルチ VDC 用の VIM 固有のリソースロケータプロパティが含まれています (単一 VIM 展開のサポート)
datacenter	string	展開を実行するデータセンターを指定します。VMware でのみサポート
placement	list	配置ポリシーの仕様。これをリストとして指定すると、vm_group の組み合わせごとに異なる配置ポリシーを定義できます
placement_group	list	配置グループポリシーの指定。このポリシーでは、配置ポリシーとこのポリシーの一部となる VM グループを定義できます。

ポリシー	container	VM の起動方法に影響する、指定可能なさまざまなポリシーについて記述します。
policy	list	条件のリストとアクションのリストを含むポリシーリスト
name	string	ポリシーの一意の名前（展開内）を指定します。
conditions	container	アクションをトリガーするライフサイクルステージ条件
condition	リスト	このポリシーが依存する条件のリスト
name	string	このポリシーが依存する条件を指定します。ESC は、サポートされている条件のリストを提供します
アクション	container	条件を満たす場合にトリガーされるアクション
action	リスト	このポリシーによってトリガーされるアクションのリスト
name	string	トリガーされるアクションの名前を指定します。アクション名によっては ESC で事前に定義されている場合があります
type	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • スクリプト • PRE_DEFINED 	アクションのタイプを指定します。
properties	container	name/value <property> のリストを含みます。
file_locators	container	ファイルロケータのリスト
file_locator	list	各ファイルロケータは、LCS、Day 0 または KPI セクションで参照できるローカルファイルまたはリモートファイルを指定します。remote_file は、ファイルサーバーを使用した認証サポートで使用できます
local_file	container	ローカルファイルシステム上のファイルパス
remote_file	container	接続先のファイルサーバー定義の名前
deployment_groups		
anti_affinity_group	string	この展開に関連するアンチアフィニティグループの名前を指定します。展開は、0 個または複数の anti_affinity_groups と関連付けることができます。OpenStack でのみサポートされます

VM グループ

vm_group		
vm_group	list	<p>このセクションでは、このグループの各 VM のインターフェイス数、モニタリングタイプ、モニタリング頻度、イベントタイプ、スケーリングメカニズム、柔軟性プロパティなどのプロパティを定義できます。</p> <p>これは、VM のタイプを表します。たとえば、1 回の展開で 2 つの Web サーバーが必要な場合、1 つの VM インスタンスのみが定義され、スケーリングセクションでインスタンス数が 2 に設定されます。2 種類の VM (たとえば、Web サーバーとデータベースサーバー) がある場合、このようなサービスは 2 つの vm_groups が設定されます。1 つは Web サーバー用、もう 1 つはデータベースサーバー用です</p>
name	string	VM グループの名前を記述します
placement	container	配置ポリシーの仕様。これをリストとして指定すると、vm_group の組み合わせごとに異なる配置ポリシーを定義できます
locator	container	VIM が明示的に定義されたマルチ VIM 対応設定を示します
vim_id	string	設定を適用するターゲット VIM の ESC 定義 ID を指定します
vim_project	string	設定を適用するターゲットプロジェクトの名前を指定します
vim_region	string	設定を適用するターゲットリージョンの名前を指定します (AWS のみ)
vim_vdc	string	設定を適用するターゲット仮想データセンターの名前を指定します (Cloud Director のみ)
type	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • affinity • anti_affinity • zone_host • vm_policy 	<ul style="list-style-type: none"> • affinity : 同じホスト上のすべてのインスタンス • anti_affinity : 異なるホスト上のすべてのインスタンス • zone_host : ゾーンまたはホストを指定します • vm_policy : VM 配置ポリシーを指定します (Cloud Director 10.x+ のみ)
enforcement	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • strict • loose 	VIM ヒントを適用する必要があるか、または試行する必要があるか
host	string	上で指定した VM のグループを展開するホスト

zone	string	上で指定した VM のグループを展開するゾーン
policy	string	VM 配置を決定する Cloud Director 10.x+ VM 配置ポリシー名または HREF
bootup_time	integer	VM がコールドブートの実行に要する時間 (単位: 秒)。ESC は bootup_time の間待機し、VM が何らかの理由でこの時間内に起動しない場合、リカバリタイマーを開始します
reboot_time	integer	VM が通常のリブートの実行に要する時間 (単位: 秒)。指定されていない場合、bootup_time 値を使用します。
recovery_wait_time	integer	VM が通常のウォームリブートの実行に要する時間 (単位: 秒)。 ESC はリカバリ待機時間の経過後に、dep.xml で定義されたりカバリ (リブート、再展開、またはリブート/再展開) を開始します。 リブートおよび展開アクションは、ESC が VM の展開の成否を判断するまでに、3 回 (または設定による回数) 実行される場合があります
recovery_policy	container	リカバリポリシーのタイプを指定します
action_on_recovery	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • REBOOT_THEN_REDEPLOY (デフォルト) • REBOOT_ONLY • REDEPLOY_ONLY 	リカバリポリシーのタイプを指定します
recovery_type	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • 自動 (デフォルト) • MANUAL 	リカバリのタイプ
max_retries	整数 (default=3)	リカバリの試行回数
image	string	VIM 上の既存のイメージ (OpenStack 環境) イメージ用語は OpenStack 環境に適用され、テンプレートは VMware VIM に適用されます。
flavor	string	VIM 上の既存のフレーバを参照します。これは OpenStack 環境でのみ使えます
vim_vm_name	string	VIM 上の VM のユーザー指定の名前
software_version	string	VM グループのソフトウェアバージョン。ソフトウェアバージョンとライフサイクルの段階に応じて、VM または VNF ではソフトウェアアップグレードの実行が可能になります。
floating_ip	type:escname	フローティング IP

volumes		
size と sizeunit が指定されている場合、ESC はボリュームを作成します。それ以外の場合は、指定された詳細情報に適合するボリュームを VIM 内で特定します		
name	string	表示名を指定します
valid	string	アウトオブバンドボリュームがアタッチされる順序を指定します
bus	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • ide • scsi • virtio 	アタッチされるボリュームのバスタイプを指定します
type	string	(オプション) ボリュームを ESC が指定したタイプと一致させるためのタイプを指定します
size	integer	(オプション) ボリュームのサイズ
sizeunit	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • MiB • GiB • TiB • PiB MANUAL	サイズの単位
boot_index	integer	起動可能なボリュームの起動順序を指定します
インターフェイス (リスト)		
<p>インターフェイスの数と各インターフェイスのプロパティを指定します。ここで指定されたインターフェイスの順序は、VM 内のインターフェイスの順序に対応していません。</p> <p>インターフェイスリストでは、新しいインターフェイスまたはポートを作成するか、既存のポートを使用するかを選択できます。新しいインターフェイスの場合、ESC は VM または VNF の作成中にインターフェイスを作成します。この一環として、ユーザーはインターフェイスを DHCP または静的に設定でき、その他のポートの設定も可能です。</p> <p>既存ポートの場合にはユーザーはポートを VM または VNF に追加できますが、その他の設定を追加することはできません</p>		
nicid	integer	インターフェイスの論理 ID。モニタリング対象の nic を指定するために、後で KPI セクションで使用されます
vim_interface_name	string	VIM 上のインターフェイスのユーザー指定名
floating_ip	type:escnetname	フローティング IP を関連付ける必要があるかどうか、または特定のフローティング IP を割り当てる必要があるかどうか

model	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • e1000; • ne2k_pci • virtio (デフォルト) • i82551 • i82557b • i82559er • rtl8139 • pcnet 	仮想の場合 : e1000 または virtio。 パススルーの場合 : NIC のモデル。これはデータセンターに固有となります。データセンターには、Intel、Cisco などのさまざまなベンダーの仮想機能をサポートする NIC がある場合があります
mac_address	ietf-macaddress	このインターフェイスのスタティック MAC アドレス
network	string	このインターフェイスを接続する必要があるネットワーク
<i>Choice: single_subnet_or_multiple</i>		
subnet/ip_address または addresses を選択します。複数の subnet/ip_address の組み合わせをサポートするために、コンテナ addresses が追加されました。これは、VNF がデュアル スタック インターフェイスまたは 1 つのインターフェイスに対する複数の IP 設定をサポートするために必要です		
<i>選択肢 : 単一</i>		
subnet	string	ポートを作成する必要がある、ネットワーク内のサブネット (名前または UUID)
ip_address	ietf-ipaddress	このインターフェイスのスタティック IP アドレス
<i>選択肢 : 複数</i>		
addresses	container	デュアル スタック インターフェイスまたは 1 つのインターフェイスに対する複数の IP 設定をサポートします
address	list	subnet と ip_address のリスト
address_id	uint16	アドレスリスト内のアドレスの ID
floating_ip	type:escnetname	フローティング IP を関連付ける必要があるかどうか、または特定のフローティング IP を割り当てる必要があるかどうか
subnet	string	IP をこのポートに割り当てるためのサブネット名または UUID
ip_address	ietf-ipaddress	この特定のサブネットのスタティック IP アドレス
<i>End Choice: single_subnet_or_multiple</i>		
type	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • 仮想 (デフォルト) • passthru • direct • macvtap • アクセス • トランク 	インターフェイスタイプ : シングルルート I/O 仮想化を構成します。注 : インターフェイスタイプを direct に設定すると、SR-IOV が設定されます

port_security_enabled	boolean	ポートセキュリティがポートレベルで有効かどうか
public_ip_address	ietf-ipaddress	このインターフェイスのパブリック IP アドレス。
security_groups	container	このインスタンス用に設定されたセキュリティグループのコンテナ
security_group	string	VM インスタンスのアクセス制御を決定する IP フィルタルール
allowed_address_pairs	container	許可されたアドレスは、サブネットに関係なくポートを通過できる任意の mac_address/ip_address(cidr) ペアを指定できます
network	list	このインターフェイスで許可されたネットワーク
name	string	ネットワーク名または uuid
address	list	このインターフェイス上で許可されたアドレス
ip_address	ietf-ipaddress	このネットワークの IP アドレスまたはサブネットアドレス
netmask	ietf-ipaddress	サブネットアドレスのネットマスク
ip_prefix	string	サブネットアドレスのプレフィックス長。整数で表されます。IPv4 アドレスの範囲は 0 ~ 32 です。IPv6 アドレスの範囲は 0 ~ 128 です
port	string	既存のポートを参照するインターフェイス
pci_id	string	インターフェイス用の PCI デバイスを指定します。VMware vSphere のみ
モニタリング (Monitoring)		
monitoring_data	list	ESC 内のモニターモジュールの設定に使用するモニタリングルールを指定します
event_name	string	ユーザー定義のイベント名。対応するイベント名が rules セクションに存在している必要があります。 監視モジュールは、イベントをトリガーする必要がある場合にイベントジェネレータに通知します (例: VM_ALIVE)
monitoring_agent	uri	ローカル MONA (省略した場合デフォルト) または分散 MONA などのモニターを指定します
nicid	integer	メトリックをモニターするために使用するインターフェイス。これは、プロキシが使用されていない場合に使用されます。この ID のインターフェイスが以前に指定されていることを確認してください。

address_id	integer	メトリックのモニターに使用するインターフェイス内のアドレス。これは、プロキシが使用されておらず、nicid インターフェイスに複数のアドレスがある場合に使用されます。この ID を持つアドレスが以前に指定されていることを確認してください。
metric_value	string	モニターモジュールによってチェックされるしきい値
metric_cond	列挙体 <ul style="list-style-type: none"> • GT • LT • EQ • GE • LE 	メトリック値でサポートされる条件演算子
metric_type	integer	サポートされるメトリックタイプは、INT8、UINT8、INT16、UINT16、INT32、UINT32、FLOAT、DOUBLE、STRING です
metric_occurrences_true	integer	モニタリングモジュールによって条件が true であると検出される連続ポーリングサイクル数。この数を超えると、モニタリングモジュールがイベントを送信します。
metric_occurrences_false	integer	モニタリングモジュールによって条件が false であると検出される連続ポーリングサイクル数。この数を超えると、モニタリングモジュールがイベントを送信します。
metric_collector	container	このセクションでは、モニタリングが必要なメトリックと、モニタリングを実行する頻度に関する情報を指定します
type	string	モニターモジュールがモニターするタイプ。例：ICMP ping。これらは、モニタリングモジュールでサポートされているタイプです。サポートされるすべての名前のリストはモニターモジュールによって異なるため、特定の実装で使用されるモニターモジュールのドキュメントを参照することをお勧めします
poll_frequency	integer	モニターモジュールがメトリックをポーリングする頻度
polling_unit	列挙体： <ul style="list-style-type: none"> • 分 • seconds 	ポーリング頻度の単位 (seconds または minutes)
rules		
admin_rules	container	これらは、管理者がサービスの登録時に指定するルールです。このアクションは、サービスの展開ごとに実行されます

rule	list	イベントがイベントによってトリガーされたときに、ESC またはその代わりに他のモジュールによって実行されるアクション。すべてのルールには、それに関連付けられた名前とアクションスクリプトがあります。アクションスクリプトは、ESC がスクリプトをダウンロードして対応するイベントを実行する URL です
event_name	string	対応するイベント名が monitoring セクションに存在している必要があります
action	string	上記のイベントに関連付けられたアクション。値は、ALWAYS log、TRUE servicebooted.sh、FALSE recover auto healing です。これには特定の形式があり、記述はより有用な情報で更新する必要があります
拡大/縮小		
scaling	container	インスタンス化する必要がある特定タイプの VM のインスタンス数、および柔軟なスケールインとスケールアウトが必要かどうかを指定します
min_active	integer	展開内の VM の最小数を記述します。これらの VM 上の負荷に関係なく、ESC は少なくともこの最小数のサービス VM が常に実行されていることを保証します
max_active	integer	ESC によってアクティブ化されるアクティブ VM の最大数を記述します。負荷が増加すると、新しい VM がアクティブ化されます
elastic	ブール値 (default=true)	柔軟なスケールインとスケールアウトを要求します
static_ip_address_pool	string	IP アドレスを一覧表示します
config_data		
configuration	container	Day-0 設定データをサービス VM に渡すことを可能にします。ファイルとインラインデータの 2 つの方法があります。いずれの場合も、設定データの内容で作成され、VM にアタッチされます。file_locator_name が新たに追加され、展開時に定義されたファイルロケータを参照します 注：file_locators は廃止されました
config_type	文字列 (default='CREATE_ISO')	ESC が設定データを処理する方法を定義します。値が存在しない場合、ESC は変換を試行せずに設定リストからファイルを渡します

config_options	container	ISO ファイルを作成するために必要なオプションを定義します
設定 :	リスト	設定ファイル/テンプレートのリストです。リストにすることで、複数の Day-0 設定を指定できます
トランク (リスト) : トランクの下に複数のトランクを定義できます		
name	string	トランクの名前これは Openstack のトランクの名前になります
parent_port	string	親ポートの名前
parent_nicid	string	これは、<interfaces> で定義されている NIC ID を指定します。この例では 0 です。この NIC 用に作成されたポートは、トランクの親ポートとして使用されます。
サブポート	container	1 つ以上のサブポート要素のラッパー
サブポート	リスト	サブポート定義をラップします。少なくとも 1 つのサブポートを定義する必要があります
name	string	サブポートの名前。これは、Openstack のサブポートの名前になります
port_id	string	VIM のこのサブポートの ID
network	string	このポートに関連付ける Openstack ネットワークの名前または ID。展開用に定義された外部または一時的なネットワークである可能性があります
segmentation_type	string	デフォルトは vlan です。他の可能な値については、Openstack API のドキュメントを参照してください 現在、セグメンテーションタイプとして vlan のみがサポートされています
segmentation_id	unit16	このサブポートに割り当てる VLAN ID

エフェメラルネットワーク

ネットワーク (Network)		
name	string	ネットワークの名前
共有	ブール値 (default=true)	ネットワークが他のテナントとの間で共有されている場合は True
admin_state	boolean	管理状態がアップかダウンかを指定します。アップの場合は true、ダウンの場合は false に設定します。ダウンの場合、ネットワークはパケットを転送しません

router_external	boolean	このネットワークが外部からアクセス可能かどうかを示します
provider_physical_network	string	仮想ネットワークが実装されている物理ネットワークの名前を指定します
provider_network_type	string	仮想ネットワークを実装するための物理メカニズムを指定します
provider_segmentation_id	int	基盤となる物理ネットワークの ID またはトンネル ID
vlan_id	int	(VMware のみ) このポートグループに割り当てる VLAN ID を指定します
number_of_ports	int	(VMware のみ) このポートグループに割り当てるポートの数を指定します。
switch_name	string	(VMware のみ) スイッチの名前を指定します。
locators	container	VMware マルチ VDC 用の VIM 固有のリソースロケータプロパティが含まれています (単一 VIM 展開のサポート)
multi_vim_locators	container	複数 VIM 環境で VIM を特定します。
vim_network_name	string	VIM 上に作成されるネットワークの名前を指定し、VIM ID が関連付けられている必要があります
サブネット		
name	string	サブネットの名前
ipversion	string	IP バージョン : IPv4 または IPv6
dhcp	boolean	このネットワーク上の VM の IP アドレスが DHCP によって割り当てられるかどうか
address	etf-inet-types:ip-address	このネットワークのサブネットアドレス
netmask	etf-inet-types:ip-address	IP アドレスで表されるサブネットマスク
ip_prefix	string	IP プレフィックスで表されるサブネットマスク
gateway	etf-inet-types:ip-address	ネットワークのデフォルトゲートウェイ。指定しない場合、ESC はネットワークへのゲートウェイの決定を試行します
no_gateway	ブール値	ゲートウェイ設定を無視

イメージ

次の表に、イメージ (image.xml) の属性を示します。

イメージ (Image)		
name	string	イメージの名前
src	string	イメージのソースを ESC に示します。これは、ESC がイメージをダウンロードする URL (http://...)、または ESC VM 自体にあるファイルの場所のパス (file://...) のいずれかです
disk_format	列挙体： <ul style="list-style-type: none">• qcow2• raw• vmdk	ディスクの形式を記述します
container_format	string	コンテナのフォーマット (例: 'bare') コンテナの形式を記述します。例: bare。
serial_console	boolean	イメージにシリアルコンソールがある場合は、true に設定します
disk_bus	列挙体： <ul style="list-style-type: none">• ide• scsi• virtio	ルートディスクバス
visibility	文字列 (default='public')	イメージをパブリックとして作成するかプライベートとして作成するかを指定します
checksum	string	ファイルの SHA チェックサム
checksum_algorithm	列挙体： <ul style="list-style-type: none">• sha256sum• sha512sum	与えられたチェックサムを検証するために使用するアルゴリズム
remove_src_on_completion	ブール値 (default=false)	イメージの登録が完了した後にイメージソースファイルを削除する場合は TRUE
locators	container	VIM 固有のリソースロケータプロパティを含みます
datacenter	string	イメージが作成されるデータセンターを指定します。VMWare でのみサポート
locator	container	VIM が明示的に定義されたマルチ VIM 対応設定を示します
vim_id	string	設定を適用するターゲット VIM の ESC 定義 ID を指定します
vim_project	string	設定を適用するターゲットプロジェクトの名前を指定します
vim_region	string	設定を適用するターゲットリージョンの名前を指定します (AWS のみ)

vim_vdc	string	設定を適用するターゲット仮想データセンターの名前を指定します (Cloud Director のみ)
metadata	container	このセクションでは、メタデータのプロパティについて説明します。
src	ietf-inet-types : uri	ESC によってダウンロードできるメタデータファイルの URL。
checksum	string	ファイルの SHA チェックサム
checksum_algorithm	string	与えられたチェックサムを検証するために使用するアルゴリズム。
properties	container	<p>オプションのプロパティリストをイメージ作成ペイロードに含めることができます。これは、OpenStack 上のイメージの作成の場合にのみサポートされます。</p> <p>イメージのプロパティは、イメージメタデータとして OpenStack に保存されます。プロパティ名と値は ESC によって検証されません</p>

フレーバ

次の表に、Flavor (flavor.xml) 属性を示します。

フレーバ		
name	string	フレーバの名前。
vcpu	integer	VM インスタンスあたりの仮想 CPU 数。
memory_mb	integer	VM インスタンスあたりのメモリ量 (メガバイト単位)
root_disk_mb	integer	仮想ルートディスクのサイズ (ギガバイト単位)。これは、ベースイメージがコピーされるエフェメラルディスクです。永続ボリュームから起動する場合は使用しません。「0」サイズは、エフェメラル ルート ボリュームのサイズとしてネイティブのベースイメージサイズを使用する特殊なケースで設定します。
ephemeral_disk_mb	integer	セカンダリ エフェメラル データ ディスクのサイズを指定します。これは空の未フォーマットのディスクで、インスタンスの存続期間中のみ存在します。
swap_disk_mb	integer	インスタンスのスワップ領域割り当て (オプション)
properties	container	プロパティの名前と値のペアのリスト

name	string	プロパティの名前/キー
	string	
値	string	プロパティの値を指定します
encrypted_value	taiff:aes-cfb-128-encrypted-string	プロパティの暗号化された値を指定します

エフェメラルボリューム

次の表に、ボリューム属性を示します。

音量		
name	string	ボリュームの名前
size	integer	ボリュームのサイズ
sizeunit	列挙体 : <ul style="list-style-type: none"> • MiB • GiB • TiB • PiB MANUAL	サイズの単位
image	string	ソースイメージの名前または UUID
type	string	特定のバックエンドにスケジューリングを提供できます。また、バックエンドストレージデバイスが動作する条件となる特定の情報を指定するためにも使用できます

ルータ

次の表に、ルータの属性を示します。

ルータ (Router)		
ルータ	container	
ルータ	リスト	
name	string	作成するルータの名前
説明	string	ルータの説明
admin_state	boolean	管理状態がアップかダウンかを指定します。アップの場合は true、ダウンの場合は false に設定します。
external_network	string	ルータの外部ゲートウェイ
snat_enable	boolean	SNAT が有効かどうか

分布	boolean	分散：true は分散ルータを示します
interfaces	container	
interface	リスト	
サブネット	タイプ：escroutername	インターフェイスのサブネット名
port_id	タイプ：escroutername	インターフェイスのポート ID
static_routes	container	
ルート	リスト	
route_name	string	ルートを識別するための RouteName
destination	ipv4-cidr	スタティックルートに追加された宛先 CIDR
next_hop	escipaddr	スタティックルート用に next_hop が追加されました

opdata_routers

次の表に、ルータの属性を示します。

opdata_router		
ルータ	container	
ルータ	リスト	
name	string	作成するルータの名前
router_id	ietf-yang-types:uuid	ルータの ID
説明	string	ルータの説明
admin_state	boolean	管理状態がアップかダウンかを指定します。アップの場合は true、ダウンの場合は false に設定します。
external_network	string	ルータの外部ゲートウェイ
snat_enable	boolean	SNAT が有効かどうか
分散型	boolean	分散：true は分散ルータを示します
interfaces	container	
interface	リスト	
サブネット	タイプ：escroutername	インターフェイスのサブネット名
port_id	タイプ：escroutername	インターフェイスのポート ID
static_routes	container	
ルート	リスト	
route_id	string	ルートの内部ルート ID
destination	ipv4-cidr	スタティックルートに追加された宛先 CIDR
next_hop	escipaddr	スタティックルート用に next_hop が追加されました

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。